

小特集号「粉末成形技術が生み出す高付加価値製品」

の原稿募集

会誌「塑性と加工」平成29年7月号（58巻，678号）では，標記の小特集号を企画しております．粉末成形，および焼結によるものづくり手法は，ニアネットシェイプ成形を実現する生産手法として，各種の焼結機械部品や新たな構造部材開発に適用されてきました．近年は，単に複雑形状部品の大量生産手法としてのみならず，成形と合金設計が同時に成される応用性を活かして，自動車エンジンバルブシート材などの材料開発や，温間成形法，摩擦援用成形法など高密度な圧粉体を得る成形技術開発が行われ，実用化も進んでおります．その一方で我が国においては，欧米諸国と比べて粉末成形－焼結製品の適用例が少ない実状があります．これはバルク体の塑性加工において優れた生産技術を有していることの現れとも言えますが，素材が粉末である利点を活かした粉末成形技術による高付加価値製品の開発は，これからもますますの発展をしていくことが予想されます．

そこで本特集号では，「粉末成形技術が生み出す高付加価値製品」と題して，焼結機械部品用粉末や圧粉成形技術を中心とした開発動向についての紹介をいたします．つきましては，皆様の最新の研究・開発の成果も会員の皆様に情報発信したいと思いますので，本テーマへの積極的なご投稿を心からお待ちしております．なお，勝手ながら原稿の採否は編集委員会・校閲運営委員会にご一任くださいますようお願い申し上げます．

原稿募集：論文，総説論文，速報論文，資料

申込締切：平成28年8月31日（水）

“粉末成形技術が生み出す高付加価値製品”と題し，原稿種別，題目，著者名，連絡先，および100字程度の概要をご記入の上，FAXまたはE-mailにてお申し込みください．

原稿締切：平成28年9月30日（金）

申込先：日本塑性加工学会編集委員会（担当：倉田）

（〒105-0012 東京都港区芝大門1-3-11 Y・S・Kビル4F，FAX：03-5733-3730，E-mail：kurata@jstp.or.jp）